



# 2022年4月から、 九州大学大学院芸術工学府が 新しくなります。[設置認可申請中]

「モノ」から「コト」へ、  
さらに「ビジョン」へ

地球環境問題がリアリティを帯び、格差や貧困の拡大が深刻化し、新型コロナウイルス感染症拡大が社会のパラダイムシフトを加速した今、私たちは地球レベルの大きな課題に直面しています。

だれも経験したことのない、この難題に対応し、未来を切り拓くためには、従来の改良型・課題解決型の思考だけでなく、価値観を大胆に転換し、未来のビジョンを描き、そこから個別の技術のありかたを導くデザインが不可欠となっています。

こうした背景のなかで、デザイン領域はますます拡大し、デザイナーの役割も変化し続けます。デザインの対象は「モノ」から「コト」へ、さらに「ビジョン」へと拡張し、デザインには、現状の課題解決だけでなく、「未来はこうもあり得るのではないか」という問いの創造までが期待されるようになりました。

このようなデザインの拡張と変容をふまえ、九州大学大学院芸術工学府は、人間中心から人間を含む地球へとデザインの視野を広げ、先端的な専門性の追求から、ビジョン主導でモノやコトを具体化し、社会の変革を目指す新たな教育組織を構築します。

# 新しい専攻、

拡大するデザイン領域をリードする  
次世代デザイナーを育成します。

新しい九州大学大学院芸術工学府は、個別のデザイン分野、拡大するデザイン領域、  
そして社会実装するための戦略の3本柱を融合したカリキュラムにより、領域間を越境・横断し、  
社会変化に柔軟に対応しながら、望ましい未来を構想し、それを実現する「高次のデザイナー」を育成します。

## 芸術工学府・ 芸術工学専攻の 5つの特色

1. 拡大するデザイン領域へ対応します。
2. デザインの総合化を促進し、社会的要請の高い横断的デザインを可能とするカリキュラムを提供します。
3. 専門に特化したサーティフィケート・プログラムを提供します。
4. 学生の文化的多様化を促進します。
5. 博士後期課程の高度の融合的研究を推進します。

## 1 専攻、6つのコース

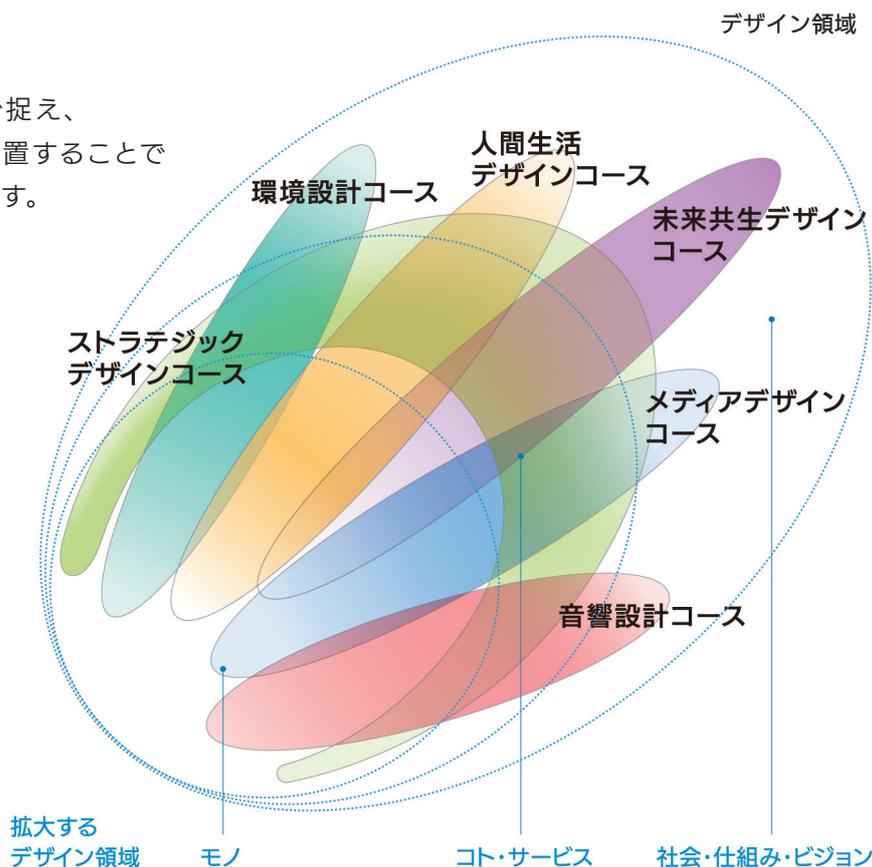
### COURSES

拡大するデザイン領域を次の3つで捉え、  
各領域を主に担う適切なコースを配置することで  
1つの専攻を有機的に構成しています。

デザインの社会実装に向けて  
高度の実務を統括する領域  
ストラテジックデザインコース

デザインの主要分野における  
最先端の研究領域  
環境設計コース  
音響設計コース  
人間生活デザインコース  
メディアデザインコース

時代の要請に応えるための  
新しい領域  
未来共生デザインコース



# 新しいデザイン教育。

## ストラテジックデザインコース

芸術工学専攻とデザインストラテジー専攻の一本化により、デザイン×ビジネスによる社会実装までを扱います。

具体的には、製品・環境・サービスなど多様なデザイン専門知識をもとに、ビジネス、アントレプレナーシップを統合するデザインストラテジーを学べるだけでなく、QBS・QREC 連携科目、企業・自治体連携による実践的な授業を履修できます。これらにより、企業や組織でのデザイン・マネジメント、未来型経済社会のデザイン戦略構築能力を習得できます。



## 環境設計コース

人々を取り巻く環境すなわち建築・都市・地域・ランドスケープを主な対象として、高度な調査・研究と創造的なデザインの実践を行います。

空間的・時間的な広がりや社会の多様性を念頭に、現代において顕在化する諸問題に真摯に向き合うとともに、人間と環境の関係のありかたを根源的に考察し、国際的な建築家教育課程として認定された内容（グローバル・アーキテクト・プログラム）を含む、より豊かな環境デザインの実現に寄与する教育が提供されます。



## 人間生活デザインコース

人間の特性や高度な科学技術に基づくモノ・サービス・システム・生活環境の創造について学び、研究することができます。

具体的には、生活の在り方を構想し、感性・創造性を含む、人間の生理的・形態的・行動的・心理的特性の探求や工学的的方法論の適用、ライフスケープデザインに関する教育科目を通じて、専門知識・スキルを深化させることができます。修了後は、安心・安全で魅力的な生活（ヒューマンライフ）の実現に貢献することが期待されます。



## 未来共生デザインコース

生命体や他者、環境と共生する「あってほしい未来」を構想し、それを実現するもの・こと・しくみをデザインします。

生命情報科学、生命工学、アート・デザイン、文化や社会に関する授業を履修し、学外のアーティストやNPOの実践者、様々な生活者とともに考え実践する演習を通じて、これからの社会に対するヴィジョンを構想し、対立し異なるものをともに活かす提案を具体的にかたちにする能力を身に付けることができます。



## メディアデザインコース

人と人、感性と表現、感覚と空間、仮想と現実をつなぐメディアコミュニケーションデザインの未来を創造します。

科学的知識と思考力、美的感性、創造力、表現力の涵養を通じて、最先端のメディアテクノロジーによるデジタルコミュニケーション、データサイエンス、ネットワークから、人間の視覚科学、心理学、芸術表現、人間社会コミュニケーションなど「繋ぐ」「伝える」「共有する」メディアデザインの探求と実践を行うことができます。



## 音響設計コース

音に関連する芸術、科学、技術の幅広い分野を対象として、総合的な課題解決能力を身につけます。

専門科目や演習科目を通じて、音に関する芸術工学的感性、人間に適合した音環境を創出する音響設計、音響情報の高品質化、音に関する芸術文化の創造を実現する能力などについて、専門知識を修得、深化させます。

音に関する文化、環境、情報の視点からデザイン対象に多面的にアプローチし、音に関わる新しいデザインの分野を切り開く力を身につけます。



# 2 特色あるカリキュラム

CURRICULUM

デザインの総合化を促進し、社会的要請の高い横断的デザインを可能とするカリキュラムを提供します

## 〈修士課程〉

新しい社会の構想から具体的な社会実践までを一本化し、よりよくデザインを活用するために現行の芸術工学専攻とデザインストラテジー専攻の2専攻を1専攻に統合します。

すべての授業科目を専攻全体として提供します。同時に各コースでは、「コースコア科目」として分野の軸を形成する科目を指定しています。これによって、学生が研究の志向に従って全専攻科目（展開科目）から自らの専門性を構築できるカリキュラムを導入します。

英語による授業を充実させ、多様性を包摂する柔軟性に富み、国際通用性のある学術リテラシーを涵養します。

## 特色ある授業

### スタジオプロジェクト科目

コース横断型のデザインプロジェクト演習科目である「スタジオプロジェクト科目」では、実践的な演習課題により「モノ」、「コト」、「ビジョン」の要素を総合するデザインを学びます。

## スタジオプロジェクト科目の事例

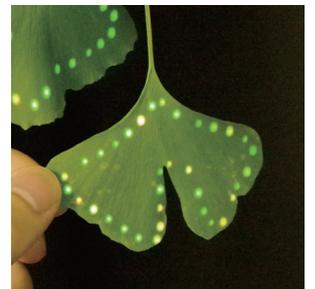
### 未来の芸術工学図書館プロジェクト

環境設計、人間生活、ストラテジックデザイン、音響設計、メディアデザイン、未来共生デザインの全コースから異なる専門性を持つ学生が複数チームとして参画し、環境、建築、什器、音響、照明、メディア、アウトリーチ、インクルージョンデザインなどの視点からリサーチとプロトタイプングを行い、それらを総合することで新しい図書館像を構築します。



### 生物による視聴覚表現

バイオアート、バイオデザインの領域で、アート・デザインの立場からアプローチし、従来のデザイン領域では経験の少ない対象にふれることで、それらについての知見を深めるとともに、高度な表現能力を養います。アニメーション、音楽等によって目に見えない世界を可視化し、自然への理解を深め表現します。



	ストラテジックデザインコース	環境設計コース	人間生活デザインコース	未来共生デザインコース	メディアデザインコース	音響設計コース
<b>科目事例</b>						
<b>デザイン科学系統</b>		■ コースコア科目				
環境化学特論		■ コースコア科目				
熱環境学特論		■ コースコア科目				
応用人間工学			■ コースコア科目			
生理人類学特論			■ コースコア科目			
時間生物学				■ コースコア科目		
分子生物学				■ コースコア科目		
視覚心理学特論					■ コースコア科目	
色彩科学特論					■ コースコア科目	
聴覚心理学特論						■ コースコア科目
時間知覚特論						■ コースコア科目
ほか						
<b>デザイン工学系統</b>		■ コースコア科目				
環境構造学特論		■ コースコア科目				
環境心理学特論		■ コースコア科目				
人間情報工学			■ コースコア科目	■ コースコア科目		
機能工学デザイン			■ コースコア科目			
生体模倣工学				■ コースコア科目		
コンピュータグラフィックス特論					■ コースコア科目	
バーチャリアリティ特論					■ コースコア科目	
音声情報学特論						■ コースコア科目
音響工学特論						■ コースコア科目
ほか						
<b>設計・制作系統</b>	■ コースコア科目					
デザインインノベーション	■ コースコア科目					
シリアスゲームデザインI	■ コースコア科目				■ コースコア科目	
環境計画特論		■ コースコア科目				
ランドスケープデザイン特論		■ コースコア科目				
パブリックデザイン			■ コースコア科目			
コンテクストデザイン			■ コースコア科目			
生命とアート				■ コースコア科目		
スペキュラティブデザイン				■ コースコア科目		
メディアアート表現					■ コースコア科目	
映像コンテンツデザイン特論					■ コースコア科目	
サウンドデザイン特論						■ コースコア科目
音響芸術特論						■ コースコア科目
ほか						
<b>文化・社会デザイン系統</b>	■ コースコア科目					
知的財産法1・2	■ コースコア科目					
デザインマネジメント	■ コースコア科目					
日本建築史特論		■ コースコア科目				
文化財学特論		■ コースコア科目				
コミュニケーションデザイン論			■ コースコア科目			
ライフスケープデザイン			■ コースコア科目			
アーツマネジメント				■ コースコア科目		
デザイン哲学				■ コースコア科目		
演劇学特論					■ コースコア科目	
マルチモーダルコミュニケーション特論					■ コースコア科目	
音楽社会文化特論						■ コースコア科目
民俗音楽学特論						■ コースコア科目
ほか						
スタジオプロジェクト科目 2単位選択必修	スタジオプロジェクト科目群					
展開科目 14単位	専攻内科目 芸術工学特別プロジェクト、コースの指定する他部局開設科目など					
修士研究関連科目 18単位 16単位必修	芸術工学演習 芸術工学特別研究 I～IV					
修士課程学位	修士（芸術工学）または 修士（デザインストラテジー）					

所属コースのコースコア科目から6単位選択

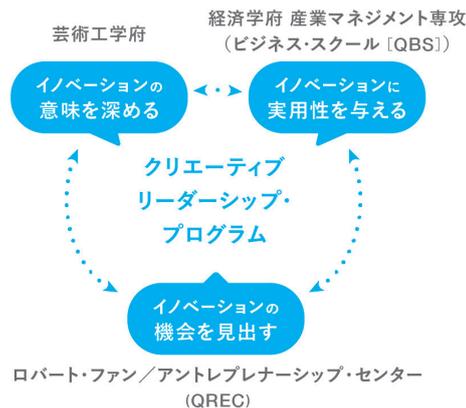
# 3

## 専門に特化したサーティフィケート・プログラム

CERTIFICATE PROGRAMS

### クリエイティブリーダーシップ・プログラム

デザイン、アート、ビジネス、リーダーシップの4要件からなる「高度デザイン人材」の育成を目的としたプログラムです。具体的には、創造的思考力にもとづく社会・文化の長期的なビジョンを構想でき、深い人間・環境理解にもとづく価値を提案でき、提案しようとする価値を社会に実装するために多様な他者への共感力・協働力を備え、イノベーション・プロジェクトを遂行する能力を持つ人材の育成を目指します。



〈九州大学・環境設計プログラム (JABEE)〉



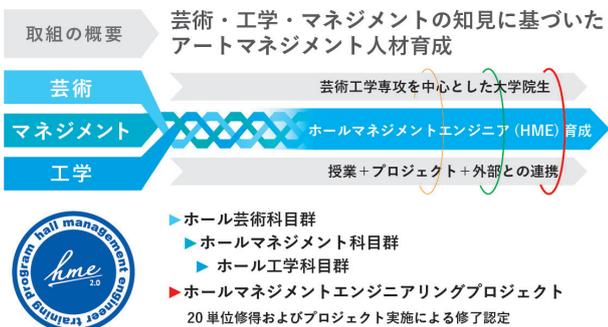
### グローバル・アーキテクト・プログラム

建築・環境設計に関する工学的知識及び文化芸術に関する知識を備えた、総合的設計能力を有する人材を育成するプログラムです。芸術工学科のアーキテクト・プログラムの修了と合わせ、「UNESCO-UIA 建築教育憲章」に基づく国際的な建築家教育課程としての認証を受けている、日本では数少ないプログラムのひとつです。

Accredited by UNESCO-UIA Validation Council

### ホールマネジメントエンジニア育成プログラム

劇場・音楽堂等の公共施設を主たる対象とし、ハードとしてのホール機能の理解と、そこで上演されるコンテンツの芸術文化の理解、加えてそれを実際に企画運用するための企画・実践能力を兼ね備えた人材の育成を目指すプログラムです。



# MASTER

## 修士課程入試

令和3年度中に実施する令和4(2022)年度入学者を対象とする入学者選抜の方式・スケジュールについて、下記のとおりを予定しています。募集人員などの詳細につきましては、今後発表される募集要項等でご確認ください。

### 選抜方式

自己推薦入試と一般入試の二つの方式にて選抜します(併願可)。いずれも、日本語に加えて英語での受験が選択できます。

### 外部英語試験の導入

これまでの入試では外国語(英語)の能力を筆記試験にて評価していましたが、改組後は外部英語試験のスコアを用いて評価します。

### 日程

文部科学省による設置認可時期により入試時期は変動する可能性があります。概ね9月から12月ごろの予定です。

この入学者選抜の変更は芸術工学府の組織改編が確定した場合の予定であり、今後の状況によりさらに変更する可能性があります。

詳細は本学府改組告知Webページを随時ご確認ください。

▶ 本学府改組告知Webページ  
<https://www.design.kyushu-u.ac.jp/pages/new-gsd/>



# 4

## 学生の文化的多様化の促進

CULTURAL DIVERSITY

- 創造的、革新的なデザインを生み出すために価値観の多様性を重視し、学府を構成する学生の文化的背景の多様化を促進します。
- 修士課程の全てのコース及び博士後期課程で、科目の英語対応を進め、日本語の習得が学位取得の条件とならないような仕組みを構築します。
- 入試においても外国人特別入学試験を廃止し、全受験者を対象とする入学試験に一本化します。

# 5

## 博士後期課程における高度の融合的研究の推進

DOCTORAL PROGRAM

- 学生の自由な意志を尊重し、柔軟な運用を図るために、芸術工学専攻とデザインストラテジー専攻を統合した1コース制を採用します。
- 従来型の一指導教員追尾型ではなく、博士課程院生個々の視点を尊重し、また、意欲を引き出し、自信を与えるために、自由で柔軟な博士課程院生みずからの個別研究を推進します。
- 研究の質を担保し、幅広い知的基盤を獲得する体系的な教育機能と、先端的・専門的学術研究機能の両者を備えた環境を構築するために、複数・多分野からなる最適な指導教員グループによる体制を整えます。

芸術工学府 芸術工学専攻 博士後期課程		
論文作成関連科目	4単位	年4回程度の研究企画セミナーの開催
研究指導科目	6単位	指導教員による指導の下に履修した授業科目（他学府科目含む）
博士論文研究		博士論文
博士課程学位		博士（芸術工学） または 博士（工学）

# DOCTOR

## 博士後期課程入試

### 入学時期

年2回（4月・10月）

### 定員

30名

### 入学試験

試験区分（一般入試、社会人入試、国際コース入試）を一本化して実施。

志願者は入試出願時に希望する予定主指導教員を指定。

試験科目：面接（対面面接またはオンライン面接。英語での面接も可）

入学者選抜の方法は今後の状況により変更する可能性があります。

詳細は本学府改組告知Webページを随時ご確認ください。

▶ 本学府改組告知Webページ



### お問い合わせ

九州大学芸術工学部事務部総務課

〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1

Tel: 092-553-4442 Email: gkjimubu@design.kyushu-u.ac.jp